

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

A & Dホロンホールディングス

証券コード 7745

<ご注意>

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

| Contents

1 2024年3月期第1四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第1四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 14
4 株主還元	P 18
5 APPENDIX	P 20

半導体関連事業が成長ドライバーとなり前年同期比2桁増収、大幅増益を達成

売上高

13,387 百万円

前年同期比 +11.7%

営業利益

1,099 百万円

前年同期比 +1,319百万円
(前年は営業損失219百万円)

- 製造・出荷管理の徹底や在庫水準の適正化への取り組みを継続的に行ってきたことで、利益の大幅改善に貢献
- 足元の受注状況を鑑み、通期予想は当初の計画通りを見込む

| Contents

1 2024年3月期第1四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第1四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 14
4 株主還元	P 18
5 APPENDIX	P 20

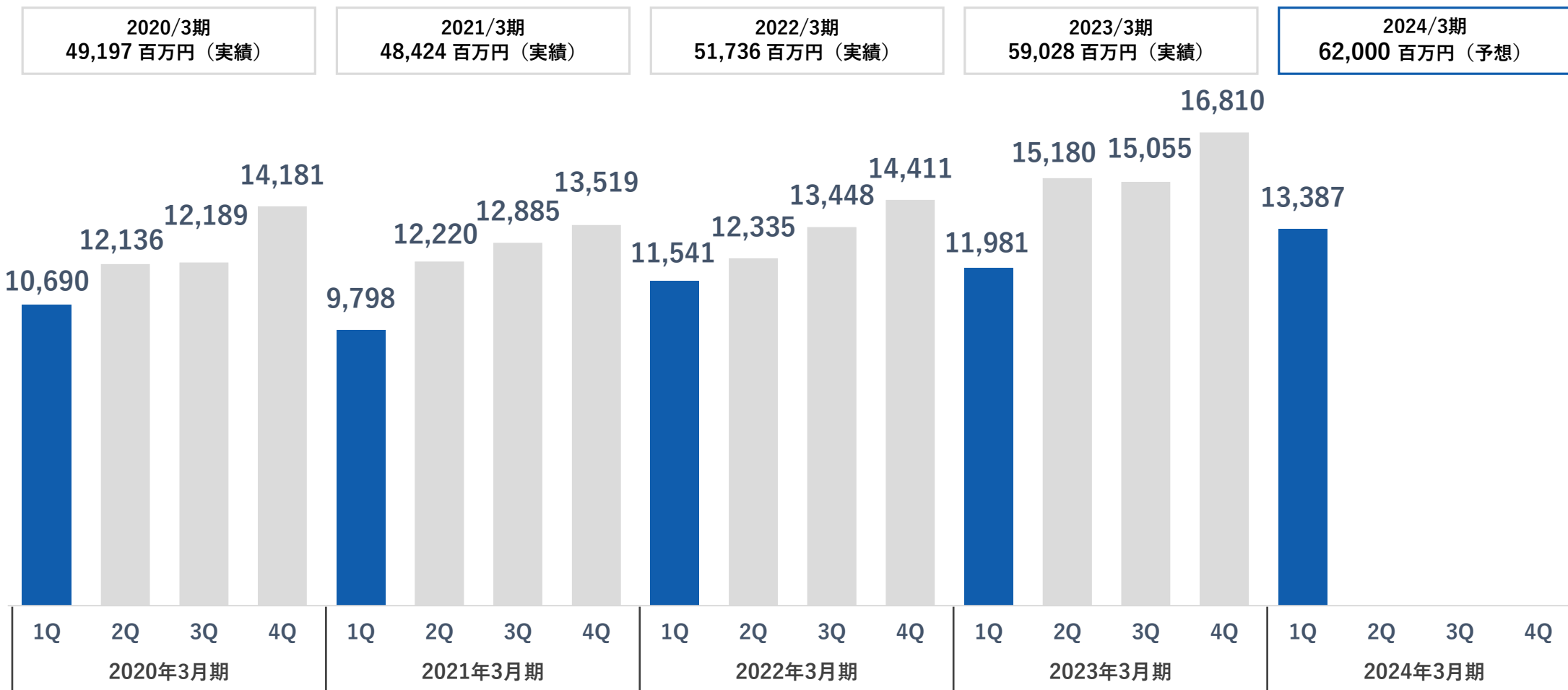
継続的売上原価低減の取組と販管費の抑制により、営業黒字に回復

(単位：百万円)	2023/3期1Q		2024/3期1Q		増減額	前年同期比
		率		率		
売上高	11,981	—	13,387	—	1,405	+11.7%
売上原価	7,604	63.5%	7,447	55.6%	-157	-2.1%
売上総利益	4,376	36.5%	5,940	44.4%	1,563	+35.7%
販売費及び一般管理費	4,596	38.4%	4,840	36.2%	244	+5.3%
営業利益	-219	-	1,099	8.2%	1,319	-
経常利益	-1	-	1,326	9.9%	1,327	-
税引き前利益	-6	-	1,322	9.9%	1,329	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	-159	-	836	6.3%	996	-
1株当たり四半期純利益 (円)	-5.83		30.47		36.30	-

四半期別売上高の推移

第1四半期会計期間において過去最高の四半期売上高を更新

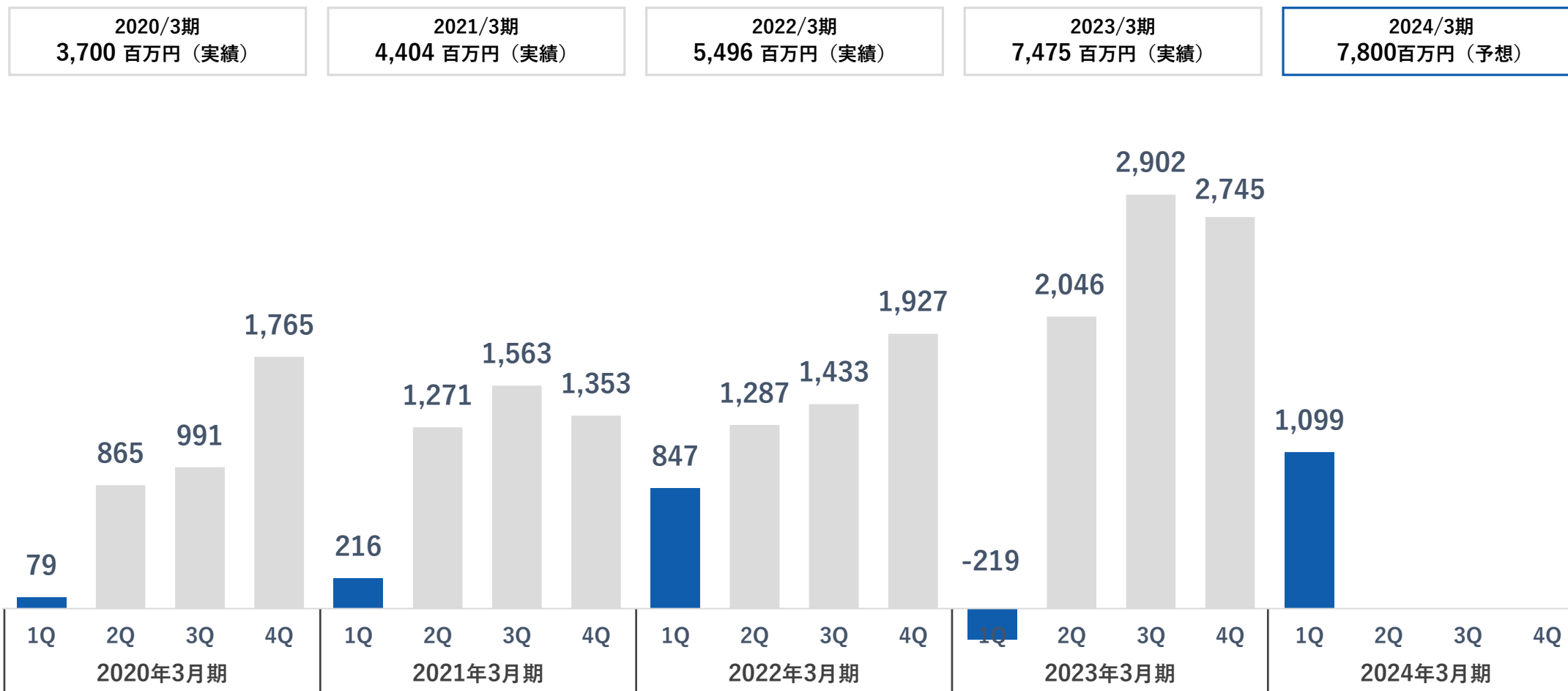
(単位：百万円)



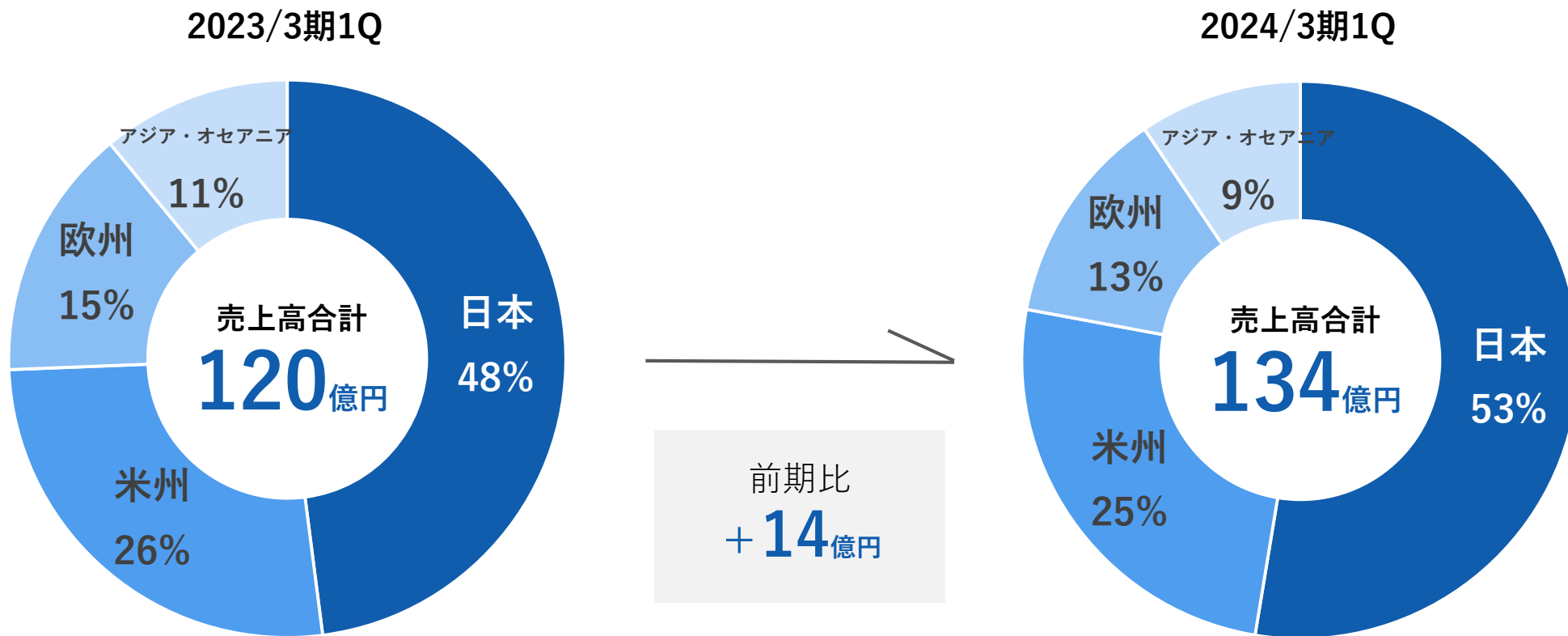
四半期別営業利益の推移

第1四半期会計期間において過去最高の四半期営業利益を更新

(単位：百万円)



日本・海外共に増加、特に日本において半導体関連事業が牽引



(単位：百万円)

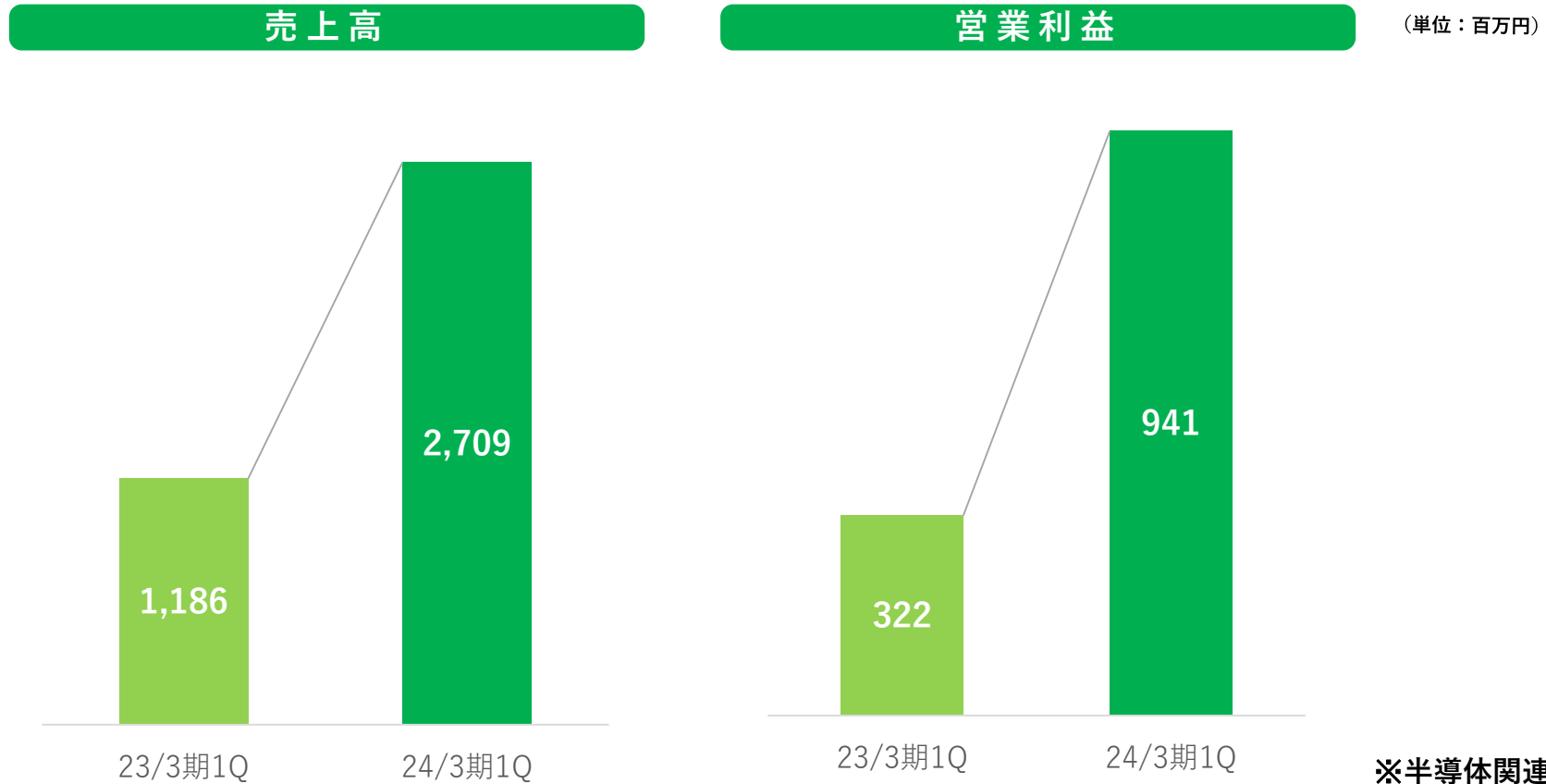
地域	23/3期1Q	構成比	24/3期1Q	構成比	前期比
日本	5,747	48%	7,042	53%	+22.5%
海外	6,234	52%	6,345	47%	+1.8%

| Contents

1 2024年3月期第1四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第1四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 14
4 株主還元	P 18
5 APPENDIX	P 20

売上高 前年同期比 +128.3%、営業利益 前年同期比 +192.1% 大幅増収増益

- 前年度来の堅調な受注に対し、グループ総力を挙げて製造・出荷の対応を行ったことで売上大幅増
- 従来からの収益性に加え、生産性の向上が大幅な利益増加に寄与

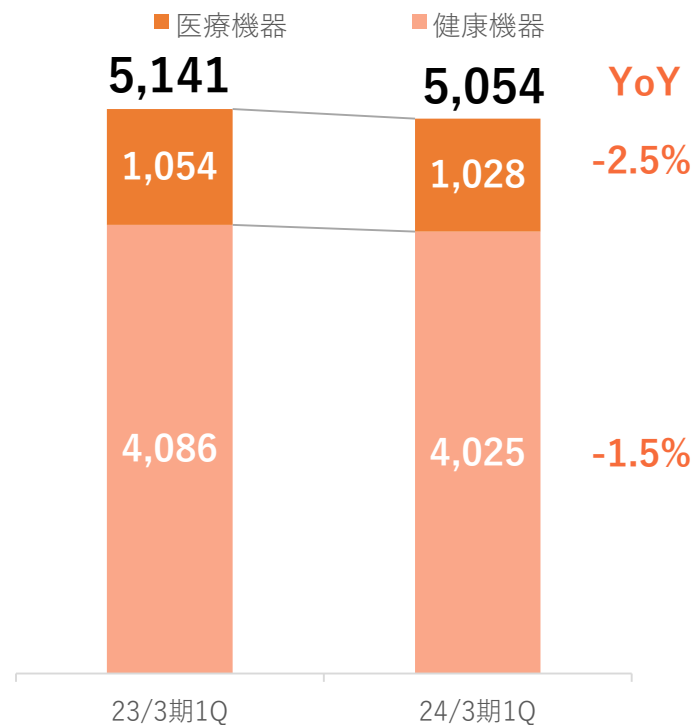


売上高、営業利益ともに前年同期比ほぼ横ばいで推移

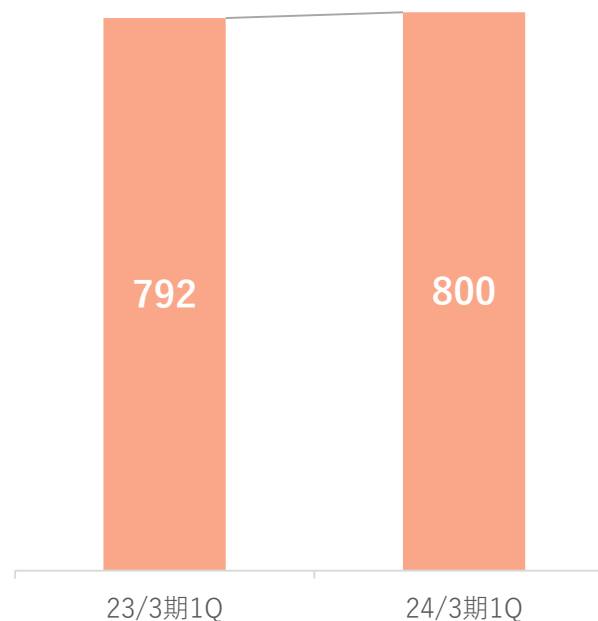
- 日本：** 大口顧客向け家庭用血圧計や病院向け看護用血圧計の需要が一服、売上、利益ともに減少
- 米州：** 米国での家庭用血圧計の需要が好調に推移、大口案件を中心に売上増加、輸送費削減や製品ミックスによって利益も増加
- 欧州：** 血圧計の需要が回復基調となり、売上、利益ともに前年と同水準を堅持

(単位：百万円)

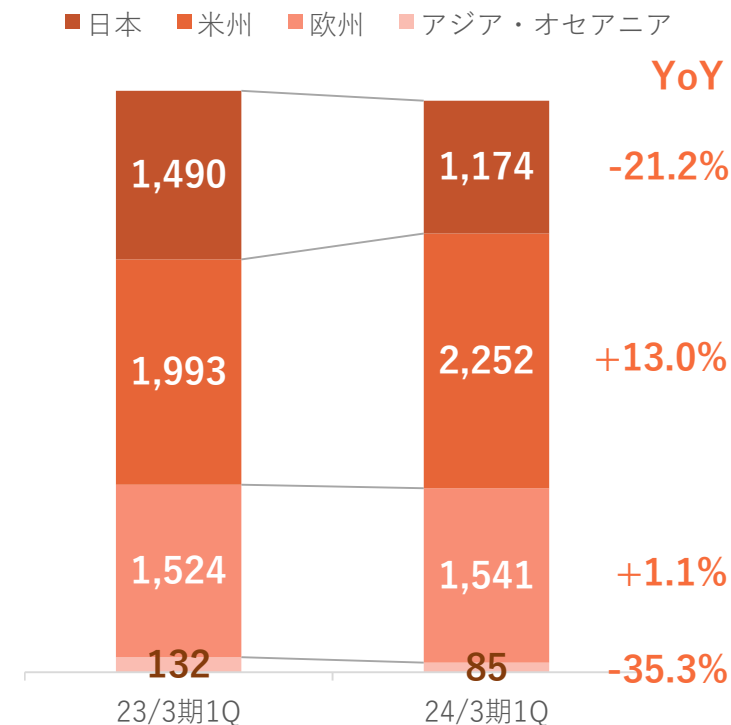
売上高



営業利益



地域別売上高



売上高は前年同期比ほぼ同等で推移するも、営業利益は原材料費高騰が影響

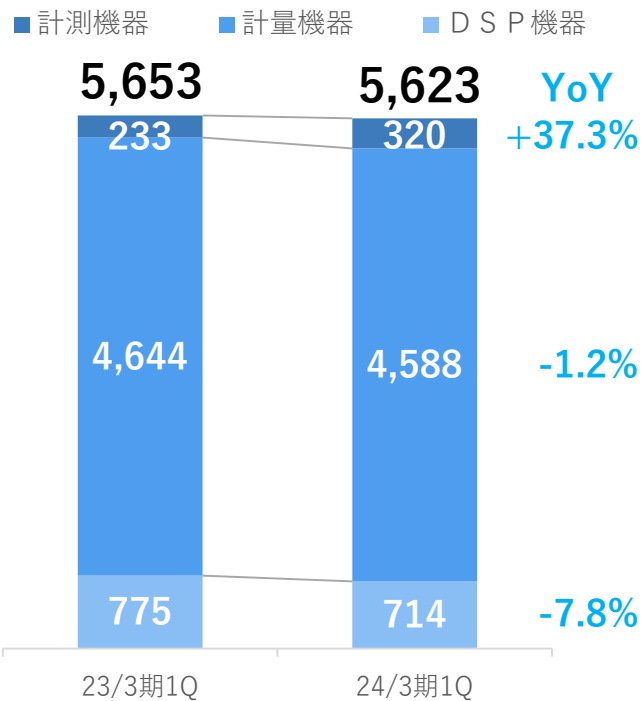
日本： 産業用設備投資の回復に伴う計測機器需要の増加により売上は増加したものの、生産面での原材料価格高騰の影響が大きく、利益は大幅減少

米州： 主力の計量機器特需があった前年度からの反動減の影響が大きく、売上、利益ともに減少

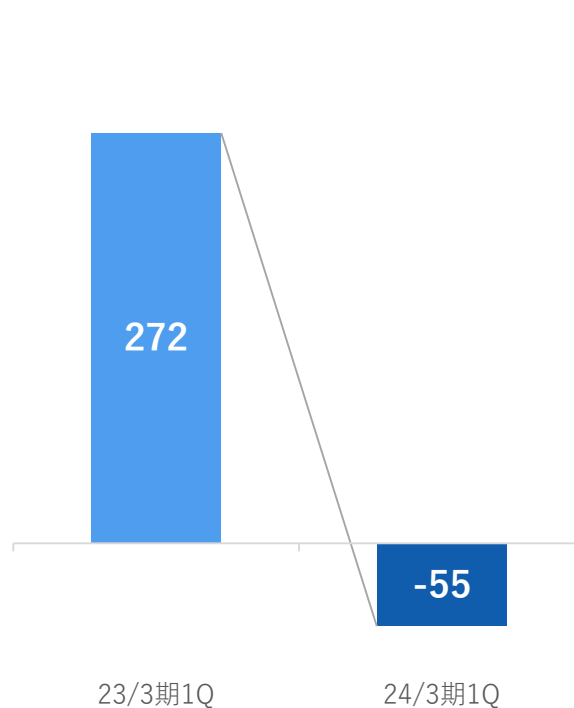
アジア・オセアニア： 売上は前年並みを確保するも、利益については製品ミックスの関係から減少

(単位：百万円)

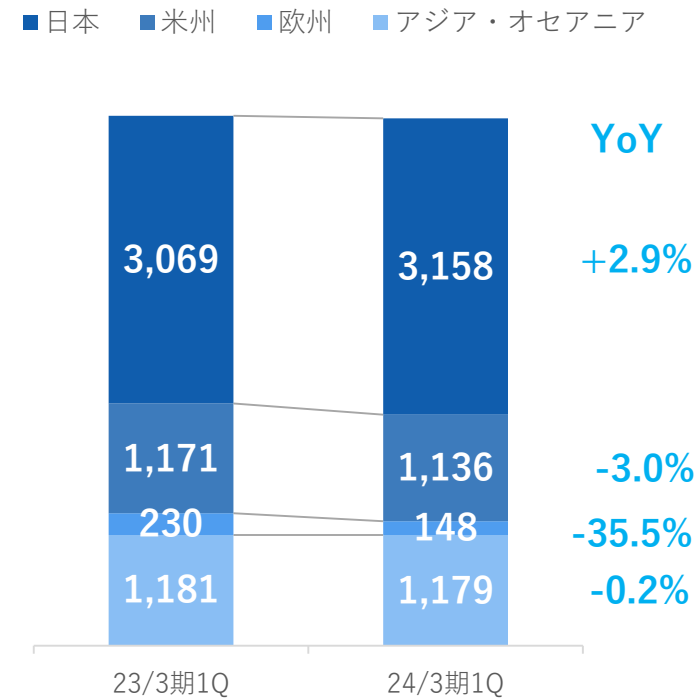
売上高

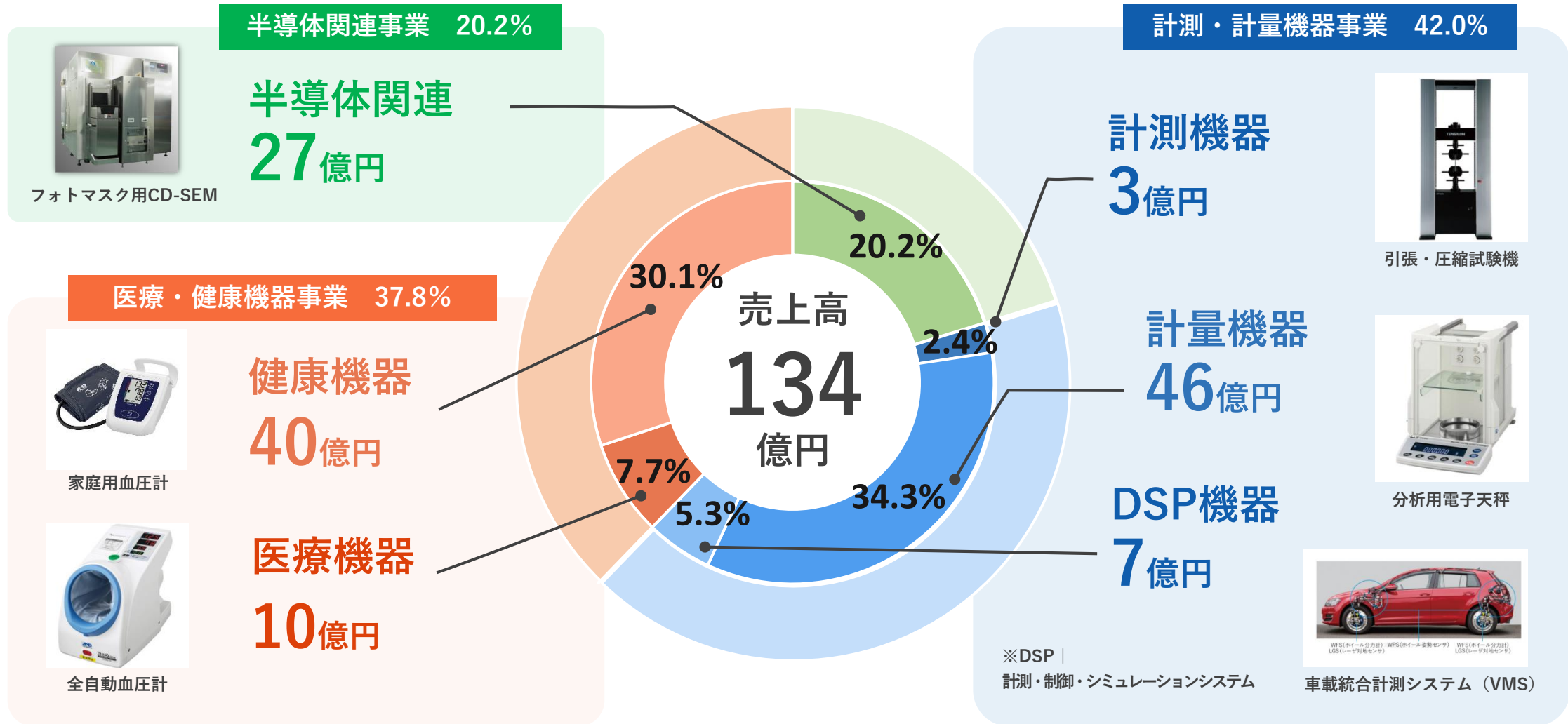


営業利益



地域別売上高





引張・圧縮試験機



分析用電子天秤



WFS(ホイール力計) LGS(レーザー対称センサ) WPS(ホイール姿勢センサ) WFS(ホイール力計) LGS(レーザー対称センサ)

車載統合計測システム (VMS)

| Contents

1 2024年3月期第1四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第1四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 14
4 株主還元	P 18
5 APPENDIX	P 20

事業別環境

半導体関連事業		24年3月期は半導体市場の減速が懸念されるが、微細化や3次元化、EV用パワー半導体などの技術革新などにより 中長期的に新たな需要が高まる見込み 米国による中国向け輸出規制強化などの環境変化には注視が必要
医療・健康 機器事業	医療機器	医療のデジタル化推進及び医療インフラ整備に伴う 中期的な投資拡大により需要は増加傾向
	健康機器	個人での健康意識の高まりおよびデジタル化推進に伴い ICT健康機器の需要増加、引き続き日本及び米州での需要増を見込む ただし、米国でのインフレ懸念による消費者意識の変化には注視が必要
計測・計量 機器事業	計測機器	産業用設備投資の回復に伴い 計測機器需要も増加傾向を期待
	計量機器	計量機器は、二次電池製造をはじめとする EV関連投資拡大に伴う生産設備用の計量器需要が引き続き増加
	DSP機器	CASEを中心とした新規技術への投資拡大 カーボンニュートラルへの対応加速のため EV関連投資が継続して拡大 特に海外需要は増加

売上高 前期比 +5.0%、営業利益 前期比 +4.3%と増収および営業利益増を見込む
 ロシア・ウクライナ危機、米中貿易摩擦等の地政学的リスクや材料価格高騰の影響等のリスクも織り込み済

(単位：百万円)

	2023/3期実績	2024/3期予想	増減率
売上高	59,028	62,000	+5.0%
営業利益	7,475	7,800	+4.3%
経常利益	7,643	7,450	※-2.5%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,524	5,110	※-7.5%
1株当たり 当期純利益 (円)	201.33	186.15	-15.18

想定為替レート：1米ドル130円、1露ルーブル1.7円

※23/3期の経常利益において為替差益や海外子会社の受取利息が多く計上されました。24/3期予想では、為替差損益は考慮しておらず受取利息も通常範囲内と見込んでおります。また、24/3期予想における当期純利益は、23/3期の利益増に伴う法人税の増加を見込んでおります。

(単位：百万円)		2023/3期 (実績)	2024/3期 (予想)	増減率
半導体関連事業		6,916	8,200	+18.6%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,360	4,700	+7.8%
	健康機器	20,150	18,900	-6.2%
	小計	24,511	23,600	-3.7%
計測・計量 機器事業	計測機器	2,439	2,860	+17.2%
	計量機器	19,151	20,170	+5.3%
	DSP機器	6,009	7,170	+19.3%
	小計	27,600	30,200	+9.4%
売上高合計		59,028	62,000	+5.0%

半導体関連事業

- 好調な半導体業界の需要に対応すべく、新製品開発推進、グループシナジー効果を追求し、更なる顧客開拓を図り業績の拡大を目指す

医療・健康機器事業

- 医療機器：主力製品である全自動血圧計、24時間携帯型血圧計の市場シェア拡大および医療用体重計等の販売地域の拡大を目指す
- 健康機器：遠隔医療等に対応するアプリケーション及び製品ラインナップの拡充を図ると共に、業務提携先との連携を深め市場シェア拡大を目指す。為替による変動の影響が大きく減収で見込む

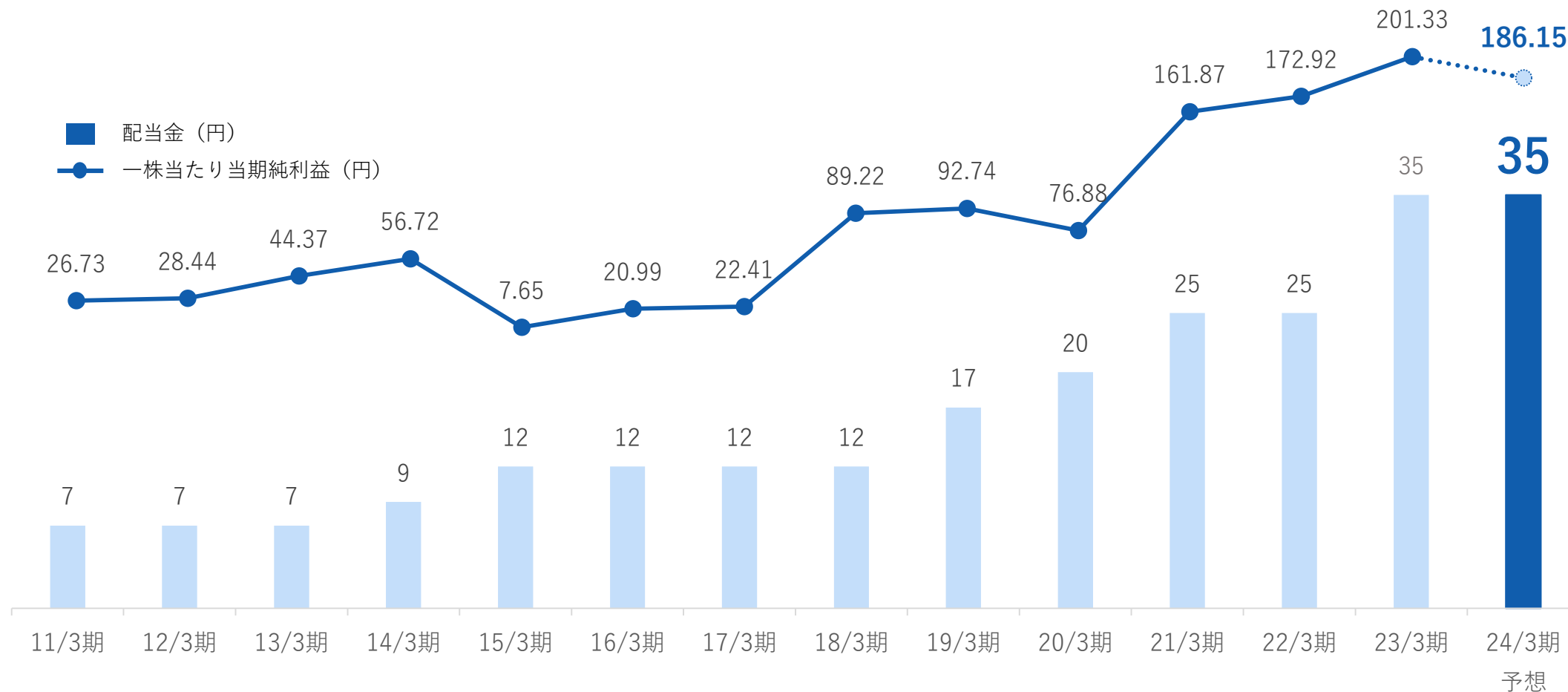
計測・計量機器事業

- 計量機器：市場要求に対応した製品開発を推進すると共に、各国の規格に対応し市場シェアの拡大を目指す
- DSP機器：需要の拡大を捉え、自社開発に留まらず、他社との共同開発を推進し新規技術にも積極的に対応

| Contents

1 2024年3月期第1四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第1四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 14
4 株主還元	P 18
5 APPENDIX	P 20

- 2024年3月期の年間配当（予想）は2023年3月期と同額の35円



| Contents

1 2024年3月期第1四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第1四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 14
4 株主還元	P 18
5 APPENDIX	P 20

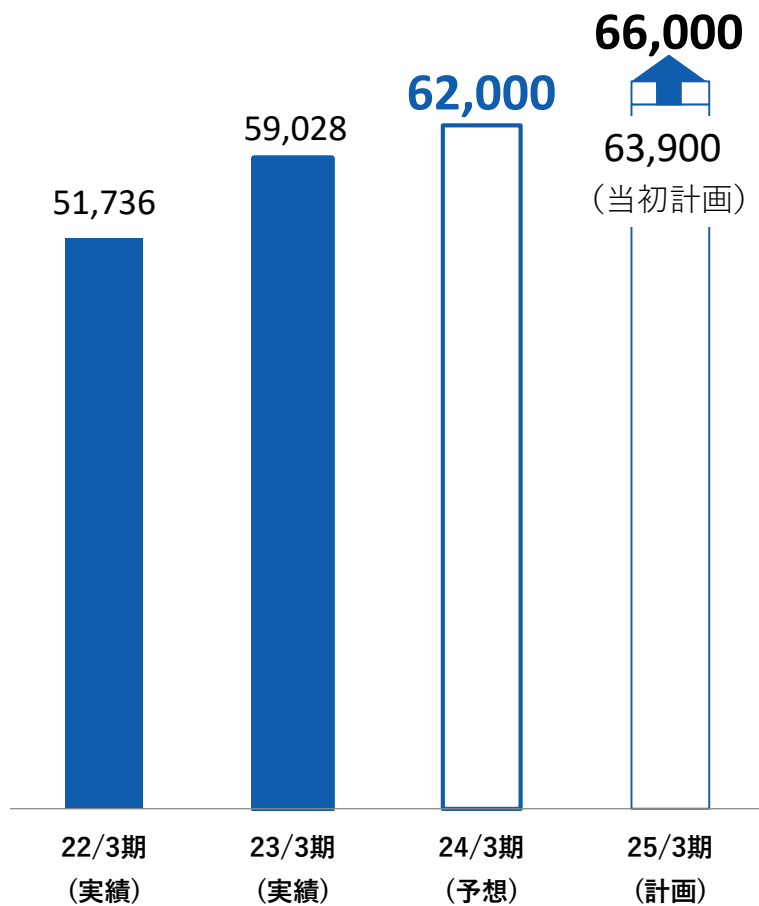
(単位：百万円)	2023/3期1Q	2024/3期1Q	前年同期比
売上高	11,981	13,387	+11.7%
半導体関連	1,186	2,709	+128.3%
医療・健康機器	5,141	5,054	-1.7%
計測・計量機器	5,653	5,623	-0.5%
売上原価	7,604	7,447	-2.1%
半導体関連	563	1,131	+100.8%
医療・健康機器	2,789	2,745	-1.6%
計測・計量機器	3,085	3,390	+9.9%
販管費	4,596	4,840	+5.3%
半導体関連	300	635	+111.4%
医療・健康機器	1,559	1,509	-3.2%
計測・計量機器	2,295	2,288	-0.3%
営業利益	-219	1,099	-
半導体関連	322	941	+192.1%
医療・健康機器	792	800	+0.9%
計測・計量機器	272	-55	-

※ 各事業別の営業損益には、全社費用およびセグメント間の取引調整額（-586百万円）が含まれておりません。

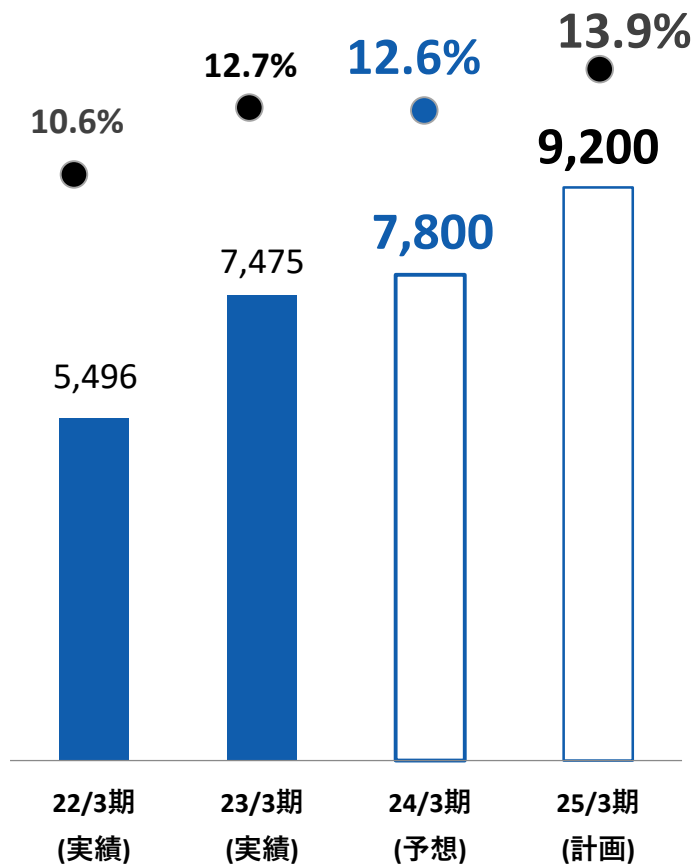
好調な受注状況を背景に2025年3月期の売上高計画を上方修正、営業利益は当初計画通り

(単位：百万円)

売上高



営業利益・率



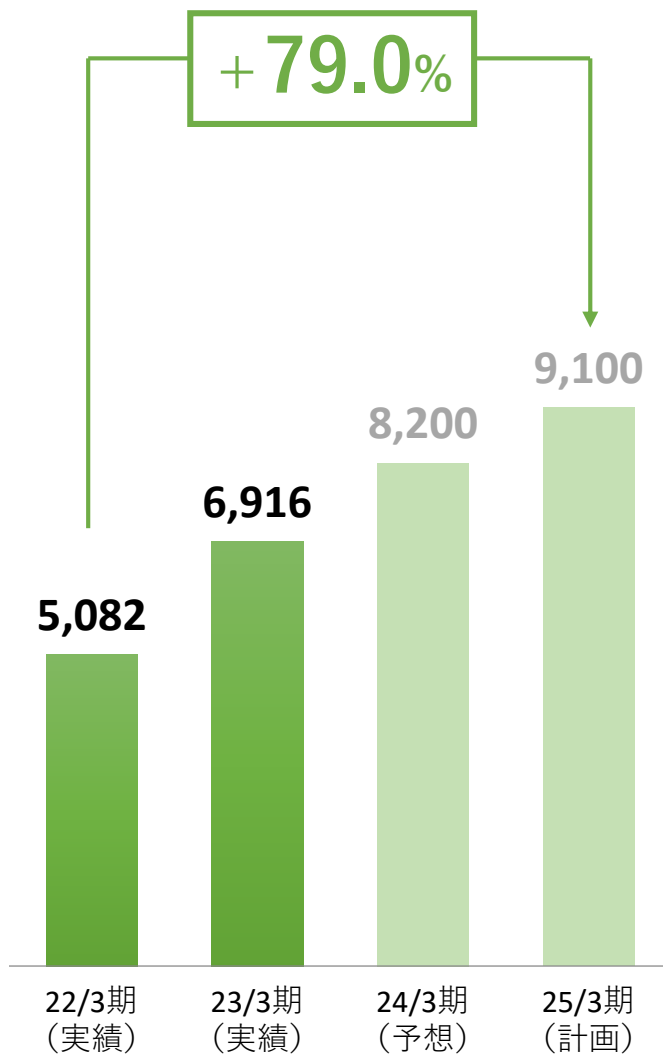
2025年3月期

売上高
2022/3期比
+ 27.6%

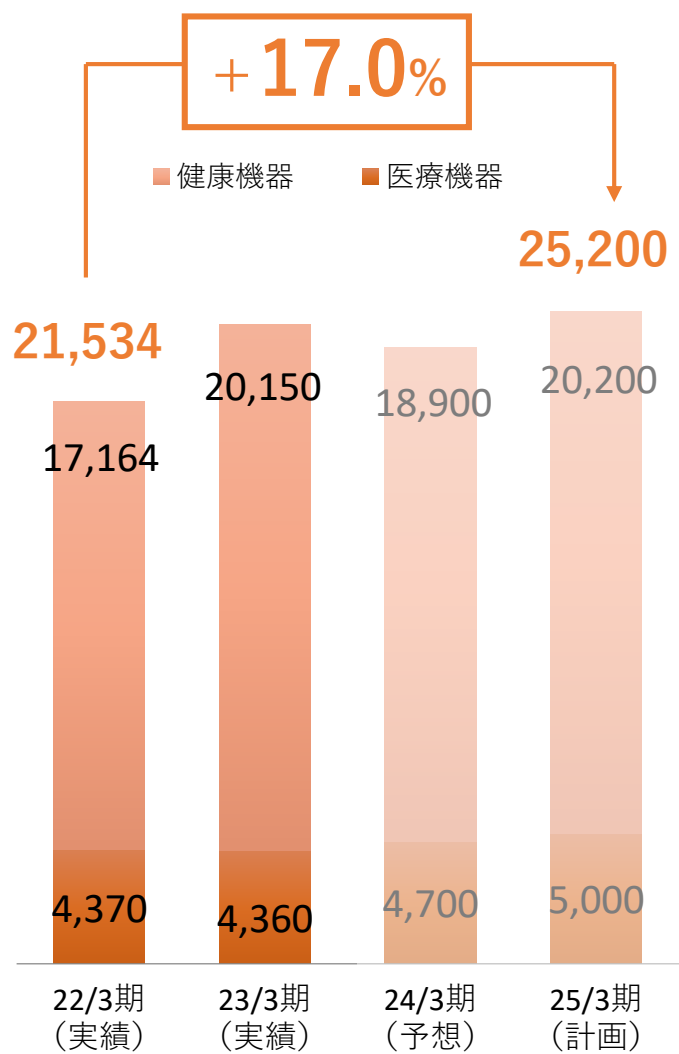
営業利益
2022/3期比
+ 67.4%

(単位：百万円)

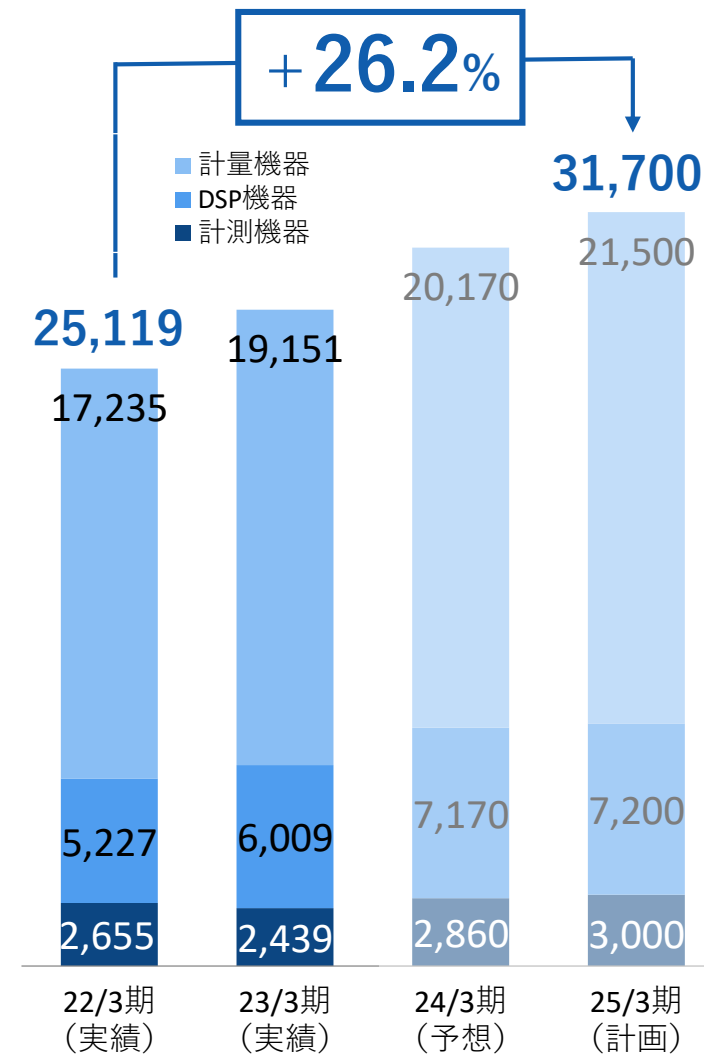
半導体関連事業



医療・健康機器事業



計測・計量機器事業



わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。



デジタル
社会



環境

カーボン
ニュートラル



医療

健康長寿
社会



「はかる」をコアとした技術革新

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス



A&Dホロンホールディングス
IRサイトは[こちら](#)から



A&Dホロンホールディングス
中期経営計画は[こちら](#)から